

令和4年度 新山下地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

当地域は観光地としての側面に加え、有数の企業・商業施設等が立地しており、横浜を代表する地域である。大規模集合住宅の建設は一段落しているが、住居専用地域においては新たに住宅が建設される件数も多く、また、空き家となったままの戸建住宅は比較的少ない地域である。第2地区では、高齢化率は上昇しているが、全体人口も14歳以下人口もともに増え世帯平均人数も増加している。この地域はまた、外国にルーツを持つ市民も多く居住しており、それぞれの文化を尊重した、多文化理解と交流を支援していくことが必要である。第4地区北部は、全体人口も14歳以下人口もともに減少し世帯平均人数も減少している。この地域の特徴は居住年数が長い市民が多いことがあげられ、サロンや食事会等の市民活動が盛んであり、この活動を継承・発展させることが必要である。両地域に共通する課題には高齢者の見守りと地域の担い手の育成がある。見守りに関してはサロンをはじめとした負担が比較的少ない見守りの仕組みを継続させていくこととベイサイド新山下の取組を継続していくことが必要である。担い手の育成には認知症サポーター養成講座等をはじめとして様々な機会を捉えて、地域の人と人とのつながりを育てていくことが必要である。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国際交流協会等との連携により外国籍市民のケアプラザ事業への参加を促進する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の福祉に資する諸活動を地域と連携して支援していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症への理解が深まり、住み慣れた地域で多くの方々が暮らしていける地域を認知症サポーターの方々と共に創っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の方々が主体的に介護予防に取り組めるよう支援する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアマネジャー向けにSNS等を活用した情報提供を行うとともにケアマネジャー同士の交流の場としての活用を進展させる。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・コロナ下でボランティア活動が困難な中、ボランティア連絡会を開催することで、今できるボランティア活動について検討していく環境を整えるとともに、施設利用登録団体説明会では、ケアプラザにおける福祉保健活動を意識してもらうきっかけとなり、高齢者の誕生日には絵手紙を贈るなどの活動に繋げることができた。
 ・第2地区ベイサイド新山下の「ひとり暮らし高齢者見守り世話人会」では希望者の玄関キーを預かれるより深化した取組体制が整ったほか、その取組を市域に発信できた。
 ・第4地区北部では、タクシー会社の依頼を受け認知症サポーター養成講座を催し、企画段階から地区のキャラバンメイトの参画も得ることができ、地域の事業者のニーズと地域の活動を繋ぐことができた。

区からのコメント

地域の企業やボランティア団体など、社会資源とのつながりを活かした取組が行われています。また、公式LINEを立ち上げて幅広い年代への情報発信を工夫したり、見守りキーホルダーの出張登録会などにより、離れた地域へも関わりの機会を作っています。多文化理解・交流の取組について国際交流ラウンジと連携するなど、地域の活動を適切に支援しています。今後も、複雑化する地域課題に向き合えるよう、職員間・地域支援チームと連携・情報共有を進めてください。

令和4年度横浜市新山下地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	利用者一人ひとりのニーズに丁寧に向き合い、利用者の選択に基く公正・中立性な地域貢献を目指すとともに、特定の事業所へ委託相談が偏らない配慮も併せ行う。	整備されたマニュアルに基づく職員研修実施する。事故発生時でも職員一人ひとりが状況に応じた適切な行動ができるよう取り組む。個人情報保護等必要な研修の実施と、様々な事件・事故から教訓を学習し、同様の事故は起こさない取り組みを行う。
実績	関係機関や団体と協働して地域の方々とともに地域の諸課題を解決していくため、情報の収集と発信、自主事業等の開催、地域事業への参画・支援等を行い、地域の方々の安全・安心に寄与する取組を行った。また、特定の事業所へ委託相談が偏らないよう配慮した。	職員一人ひとりが状況に応じた的確な判断や機敏な行動ができるよう災害対策訓練や職員研修を実施した。所長会議等で提供された様々な事故事例を共有するほか、個人情報保護のに関する研修を行い職員として必要な研鑽を行った。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で自分らしい生活がおくれるよう支援するために、それぞれが把握している情報を活用するなど多様な主体と連携・協働し、適切なサービスや社会資源に繋げていく。	公正・中立な立場でご利用者の人格を尊重したうえで、ご利用者の自立と在宅生活の維持向上を図るため、職員は各関係者と協働して最新・最適な情報・制度を活用し、ご利用者・ご家族の意向が生かされたケアプランを作成する。
職員体制	社会福祉士1名、看護師1名、主任ケアマネジャー1名	常勤専従職員3名、(内管理者1名)
契約者数	年間契約者数:213名 (年間各月合算値:1,848名)	年間契約者数:174名 (年間各月合算値:1,608名)

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市新山下地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,927,975	10,000	18,937,975	18,927,975	10,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	51,000		51,000	36,300	14,700	講座等参加料収入
横浜市による運営支援	0	175,000	175,000	175,000	0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
横浜市による運営支援（追加分）	0		0	0	0	
横浜市による運営支援（その他）	0		0	0	0	
雑入	10,000	0	10,000	49,475	△ 39,475	
印刷代	10,000		10,000	4,475	5,525	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
その他	0		0	45,000	△ 45,000	寄附
その他	△ 10,000		△ 10,000	0	△ 10,000	
収入合計	18,978,975	185,000	19,163,975	19,188,750	△ 24,775	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,409,000	0	13,409,000	12,979,825	429,175	
本俸	8,423,000		8,423,000	8,437,520	△ 14,520	
社会保険料	1,298,000		1,298,000	1,218,788	79,212	
手当計	3,479,000		3,479,000	3,109,652	369,348	
健康診断費	20,000		20,000	32,353	△ 12,353	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	111,000		111,000	111,300	△ 300	
その他	78,000		78,000	70,212	7,788	
事務費	944,000	0	944,000	893,959	50,041	
旅費	0		0	0	0	
消耗品費	330,000		330,000	285,668	44,332	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	20,000		20,000	10,050	9,950	
通信費	227,000		227,000	251,669	△ 24,669	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	150,000		150,000	45,000	105,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	9,000		9,000	9,448	△ 448	
職員等研修費	10,000		10,000	5,398	4,602	
振込手数料	1,000		1,000	220	780	
リース料	11,000		11,000	36,828	△ 25,828	
手数料	10,000		10,000	55,050	△ 45,050	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	176,000		176,000	194,628	△ 18,628	コピー機保守 PC保守 粗大ゴミ処分他
事業費	526,000	0	526,000	309,251	216,749	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	526,000		526,000	309,251	216,749	
その他	0		0	0	0	
管理費	1,445,000	0	1,445,000	2,728,677	△ 1,283,677	
光熱水費	990,000		990,000	2,252,619	△ 1,262,619	電気ガス料金高騰のため予算大幅超過
清掃費	231,000		231,000	231,200	△ 200	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	174,000	0	174,000	193,968	△ 19,968	
空調衛生設備保守	62,000		62,000	61,889	111	
消防設備保守	55,000		55,000	55,092	△ 92	
電気設備保守	28,000		28,000	48,376	△ 20,376	
害虫駆除清掃保守	27,000		27,000	26,718	282	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	2,000		2,000	1,893	107	
共益費	25,000		25,000	25,445	△ 445	
その他	25,000		25,000	25,445	△ 445	
修繕費	474,000		474,000	510,712	△ 36,712	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	1,766,326	△ 1,766,326	サービス区分間繰入(差引プラスをデイへ)
支出合計	16,798,000	0	16,798,000	19,188,750	△ 2,390,750	
差引	2,180,975	185,000	2,365,975	0	2,365,975	

自主事業費 収入	51,000	0	51,000	36,300	14,700	
自主事業費 支出	526,000	0	526,000	309,251	216,749	
自主事業 収支	△ 475,000	0	△ 475,000	△ 272,951	△ 202,049	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市新山下地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	27,702,000		27,702,000	24,721,000	2,981,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0	0	0	
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	89,000		89,000	86,800	2,200	講座等参加料収入
横浜市による運営支援	0		0	0	0	
横浜市による運営支援（追加分）	0		0	0	0	
横浜市による運営支援（その他）	0		0	0	0	
雑入	0	0	0	94,780	△ 94,780	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
その他	0		0	94,780	△ 94,780	保険料 講師謝金
その他	△ 2,981,000		△ 2,981,000	0	△ 2,981,000	
収入合計	30,766,000	0	30,766,000	30,858,580	△ 92,580	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,096,000	0	29,096,000	27,980,816	1,115,184	
本俸	14,894,000		14,894,000	14,977,800	△ 83,800	
社会保険料	3,992,000		3,992,000	3,700,432	291,568	
手当計	9,762,000		9,762,000	8,856,306	905,694	
健康診断費	28,000		28,000	27,760	240	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	392,000		392,000	391,140	860	
その他	28,000		28,000	27,378	622	
事務費	916,000	0	916,000	1,183,519	△ 267,519	
旅費	6,000		6,000	628	5,372	
消耗品費	92,000		92,000	105,696	△ 13,696	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	17,000		17,000	21,229	△ 4,229	
通信費	422,000		422,000	379,035	42,965	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	16,000		16,000	18,896	△ 2,896	
職員等研修費	151,000		151,000	45,657	105,343	
振込手数料	1,000		1,000	682	318	
リース料	20,000		20,000	73,656	△ 53,656	
手数料	10,000		10,000	112,960	△ 102,960	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	181,000		181,000	425,080	△ 244,080	コピー機保守 PC保守 会費他
事業費	1,147,000	0	1,147,000	1,025,389	121,611	
協力医	630,000		630,000	630,000	0	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	77,000		77,000	25,369	51,631	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	160,000		160,000	129,976	30,024	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	280,000		280,000	240,044	39,956	
その他	0		0	0	0	
管理費	384,000	0	384,000	725,332	△ 341,332	
光熱水費	264,000		264,000	598,797	△ 334,797	電気ガス料金高騰のため予算大幅超過
清掃費	61,000		61,000	61,454	△ 454	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	45,000	0	45,000	51,555	△ 6,555	
空調衛生設備保守	16,000		16,000	16,451	△ 451	
消防設備保守	15,000		15,000	14,644	356	
電気設備保守	7,000		7,000	12,857	△ 5,857	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	7,101	△ 101	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	502	△ 502	
共益費	7,000		7,000	6,763	237	
その他	7,000		7,000	6,763	237	
修繕費	126,000		126,000	135,758	△ 9,758	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	△ 192,234	192,234	サービス区分間繰入(差引マイナスをデイから)
支出合計	31,669,000	0	31,669,000	30,858,580	810,420	
差引	△ 903,000	0	△ 903,000	0	△ 903,000	

自主事業費 収入	89,000	0	89,000	86,800	2,200
自主事業費 支出	517,000	0	517,000	395,389	121,611
自主事業 収支	△ 428,000	0	△ 428,000	△ 308,589	△ 119,411

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市新山下地域ケアプラ

令和4年4月1日~令和5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	5,241	6,226	-985	20,344	20,990	-646			0			0
	その他	0	0	0	4,523	4,850	-327	103	396	-293	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0	4,523	4,850	-327			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	受託収入			0			0	103	276	-173			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0	0		0	0	120	-120			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	9,764	11,076	-1,312	20,447	21,386	-939	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	22,766	19,534	3,232			0			0
	事務費			0			0	816	827	-11			0			0
	事業費			0			0	100	3	97			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	7,204	7,949	-745	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	3,366	3,540	-174			0			0			0
	予防プラン委託料			0	3,838	4,409	-571			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	7,204	7,949	-745	23,682	20,364	3,318	0	0	0	0	0	0
	収支 (A)-(B)	0	0	0	2,560	3,127	-567	-3,235	1,022	-4,257	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	親子のフリースペースおひさま	17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就学児とその親を対象に、子育て中の親子に交流の場の提供。	3:養育者及び乳幼児		子育てに関する情報提供、講座等の開催。 ・会場:新山下地域ケアプラザ ・毎月3回(金曜日) 10:00~11:30/13:30~15:00	27	114
2	地域子育てサロンひだまり	17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	町内会館を利用し親子の集いの場を提供する。情報交換の場や子育て情報の提供を主任児童委員を中心に行う。	3:養育者及び乳幼児		第4地区北部民生委員をはじめとした地域の担い手を中心として運営する地域子育てサロン。 ・会場:北方町一丁目町内会館 ・月1回(月曜日)10:00~11:30	8	61
3	こだわり味噌作り	26	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	あらゆる世代を対象に世代間交流の場としても体験を実施。ケアプラザの周知や地域活動の紹介も行う。	5:地域		老舗の靴店の方を講師に迎え、味噌作り体験を行う。大豆つぶしや糀混ぜなどを各テーブル交流しながら作っていく。(年1回)	1	20
4	フローリス	16	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの花壇の園芸活動を通してボランティアに興味を持ってもらう。	5:地域		ボランティアグループ「フローリス」のガーデニングボランティア活動を支援する。(週2回)	93	397
5	福祉体験学習	23	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者や地域福祉について理解を深め、地域の一員として生きる姿勢を育む。	4:子ども・青少年		中学生等に対してケアプラザ機能の説明をし、通所介護での実習体験を通して高齢者・地域福祉を理解してもらう。	0	0
6	絵本の読み聞かせ会	29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	養育者が家庭でも読み聞かせができるよう、読み聞かせのポイントなどの情報提供の場として行なう。	3:養育者及び乳幼児		読み聞かせボランティアによる、絵本の読み聞かせ、わらべ歌等。子育てサロン内で行なう。自宅で読める本等も紹介する。	11	53

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
7	育児講座	2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中区の保育園との共催事業。地域の親子が共に触れ合う機会をつくっていく。2年に1回。	3:養育者及び乳幼児		講師を招いて親子で参加できる育児講座を企画する。	0	0
8	タッチケア講座	31	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	タッチケアを通じて親と子が触れ合いリラックスしてもらう。地域の企業とのコラボ。	3:養育者及び乳幼児		親子でタッチケアを行う。地域で子どもを見守っていく支援者(拠点)の紹介も行う。	0	0
9	打楽器コンサート	27	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	シーンごとに合わせた楽曲を生音楽で聴き子供たちの想像力をかきたてる。また、打楽器で音楽と言葉の世界を楽しむ。	3:養育者及び乳幼児		親子で小物楽器を作るワークショップと、打楽器コンサートを行なう。大型打楽器を実際に弾き、体験する。	1	24
10	出張のんびりんこ知って得する体験ツアー～親子でカラダを動かそう～ Part3	28	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区内の子育て支援機能のある施設との連携を深め、各地域、組織の取組やニーズをとらえる。親子の居場所を増やす。	3:養育者及び乳幼児		中スポーツセンターで施設見学とふれあい体操等のプログラム体験。ケアプラザで子育てサロンの体験も行う。	1	15
11	花植え体験会	28	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	花植えを通じた地域住民の交流の機会とし、新規ボランティアの登録にもつなげる。	5:地域		園芸ボランティアと地域の方でプランターに花の植え付けをする。交流会も兼ねる。ボランティア活動の情報も発信する。	1	22
12	高齢者疑似体験	24	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	福祉教育の一環として高齢者疑似体験を行い、地域住民へ保健福祉事業を啓発する。	5:地域		スポーツ・レクリエーションフェスティバル2020内での事業。高齢者の生活体験や車椅子体験も行う。ケアプラザの周知も行う。	0	0

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	UVレジンでアクセサリチャームをつくろう!	31	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学生を対象とした夏休み(もしくは冬休み)企画。ケアプラザを知ってもらう機会を作る。	4:子ども・青少年		アクセサリチャームをつくる、ワークショップを行う。同時に、ケアプラザや地域で参加できるイベントの周知も兼ねる。	0	0
14	多文化交流会	2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日本人と外国人の交流機会を作る。	5:地域		互いの文化を知る機会となるプログラムを実施する。	0	0
15	ボランティア連絡会	22	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティアの活動意思の確認 ボランティア活動へのモチベーション維持 新たなボランティア活動への参加	5:地域		コロナ禍でも活動可能なボランティアの共有や、ボランティア同士のコミュニケーションを図る。	1	20
16	おしえてドクター	22	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に医療情報を提供し、健康に関する関心を高める。	5:地域		施設協力医の稲村先生を講師として招き、市民向け健康講座を開催する。	2	10
17	認知症介護者の集い	27	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者や関係者が息抜きをしたり、社会資源や制度の情報提供を通じて介護に役立てる	5:地域		介護されている方を対象に、お役立ち講座や茶話会を行い、介護者同士の交流や介護ストレスの軽減を図る。	3	17
18	しんやま勉強会	30	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーへの情報提供と顔の見える関係づくりを行う。	6:事業者		ケアマネジャーなどを対象に、関心の高いテーマで事例検討・講義などを行う。	1	19

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
19	権利擁護講座	4	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	終活講座等を通じて市民が将来認知症や介護状態になっても自分らしく生活ができるよう制度を知ってもらう。	1: 高齢者		遺言・相続の話など、地域のケアプラザで連動して終活講座を実施し、地域住民への啓発を行う。	1	17
20	いすにすわってリズムたいそう	30	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	・高齢者の外出のきっかけとなる。 ・認知症予防・精神安定となる音楽療法	1: 高齢者		いすに座り、懐かしの曲に合わせて体を動かす。癒しの効果と脳と身体を使い、心地よさと楽しさ、充実感を得て頂く。	10	56
21	フラワーアレンジメント講座	30	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	リタイアした高齢者の活躍の場。高齢者の外出、他者との交流のきっかけの一助となる。多世代交流。	5: 地域		地域の方が講師を務めて講座実施。クリスマスリースやお正月飾り等を作る。地域交流と多世代、外国人交流を初企画。	3	41
22	ハローよこはまブース出店	23	5: 共催 (1と3)	1: 優先的に取り組み	ケアプラザ・地域包括支援センターの広報周知のため	5: 地域		中区内の6地域ケアプラザと共催しブース出店。	1	0
23	サロンしんやま(地域交流)	29	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	年代問わず交流できる場を提供しケアプラザにも足を運んでもらいやすくする。地域住民の交流のきっかけの一助とする。	5: 地域		時間内出入り自由のフリースペースの提供。多世代交流やボランティアの演目披露等を中心に様々なプログラムを展開。	3	61
24	サロンしんやま(生活支援)	29	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	年代問わず交流できる場を提供しケアプラザにも足を運んでもらいやすくする。高齢者の外出のきっかけの一助とする。	5: 地域		時間内出入り自由のフリースペースの提供。生活支援の社会資源の情報提供など様々なプログラムを展開。	4	64

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
25	サロンしんやま(地域包括)	29	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	年代問わず交流できる場を提供しケアプラザにも足を運んでもらいやすくする。高齢者の外出のきっかけの一助とする。	5:地域		時間内出入り自由のフリースペースの提供。オーラルケアや家族信託などをテーマとした様々なプログラムを展開。	4	68
26	認知症サポーター養成講座	29	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症について啓発を行い、地域全体で認知症高齢者を見守る地域づくりを目指す。	5:地域		地域のキャラバンメイトと協力して認知症サポーター養成講座を開催する。	2	34
27	出張相談会	30	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	出張相談を行い、アウトリーチを通してケアプラザに來れない地域住民がケアプラザを知り、必要な制度活用できるように、支援の入り口を積極的につくる。	5:地域		自治町内会館などで、見守りキーホルダーの登録や総合相談、ケアプラザ事業の紹介などを行う。	1	24
28	民生委員・ケアマネジャー交流会	29	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	民生委員とケアマネジャーが連携して地域で活動できるよう、お互いの仕事など知り交流できる場づくりを行う。	5:地域		交流会を実施し、連携のためにどのようなことが必要か参加者と共に検討していく。	2	44
29	精神保健福祉講座	4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民・民生委員など支援者へ啓発を行う。専門機関を交えて企画を行い、ネットワークづくりも行う。	5:地域		精神科へのかかり方、精神障害者への対応など身近なテーマで講座を開催する。講座テーマについては生活支援センターなど専門機関も交えて検討していく。	0	0